

7・12全説で学祭実に2割の不信任！

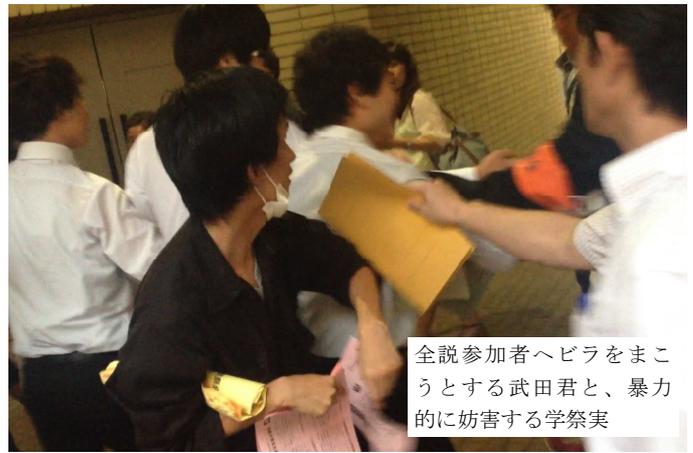
学祭実を打倒し 自主法政祭を 取り戻そう！



文連排除のために会場前で阻止線を張る学祭実



武田君（左）を最先頭で弾圧する学祭実委員長・栗原一樹（右）



全説参加者へビラをまこうとする武田君と、暴力的に妨害する学祭実

文連委員長・武田雄飛丸君アピール！

法大生のみなさん。

7月12日の市ヶ谷全学説明会においてまたもや学祭実の度し難い屈服が明らかになりました！

学祭実はず年に引き続き全面飲酒規制を継続し、さらに趣意書制度の改悪という自主法政祭の理念の根幹にかかわる規制強化を行うことを発表しました。

ピロティ下などの企画場所を決めるにあたって、サークルからの趣意書をランク分けして、それを元に場所を割り振るといった従前の方法を、学祭実が独断で企画場所を割り振るといったものに変えるというのです。これでは趣意書の意味がありません。

自らの屈服による規制の強化を「自主意識が低下したから」と学生に責任を転嫁してきた学祭実が、趣意書制度をも形骸化させ、自らの権限を拡大し、自主法政祭を自主の理念も何もないただの「学園祭」にしようとしているのです。

法大生のアピール！

去年から実行委員会は延々と「文化連盟は過去に暴力や恫喝を行った危険団体」と主張し続けていますが、今まで一度も彼等の指す“暴力行為”の証拠は示されていません。

寧ろ前回の全学は実行委員会側がスクラムを組んで社会科学研究会の参加を物理的に排除しました。

今回の全学説明会に至っては説明会の会場付近に居た部員へ「ここは貴方達が居る良い場所では無いのでお引き取り下さい」と言い、拒んだ社研部員をエスカレーターで数度突き飛ばしました。

彼等は何の根拠も無い“文化連盟側の不祥事”を持ち出し「実行委員会の邪魔をしないで下さい」と自分達の被害者性ばかり訴えます。

一方で彼等の根拠の無い社研批判や社研排除の実害を被る僕等の抗議に関しては「前に貴方方へ送った文章に実行委側の見解は載せたので、話し合いの必要は無いと思います」とワガママ極まりない対応です。

飲酒文化存続の公約を1年も待たず反故にし、学生から集めたアンケートを恣意的に改竄する“人様をナメた態度”が僕等へ対しても出ています。

どこまでも自分本位な実行委員会に唾然とするばかりです。

文化連盟

法政大学文化連盟

メール : bunren08@yahoo.co.jp

ブログ : <http://08bunren.blog25.fc2.com>

●文連排除を許さない！

同時に学祭実は教職員と共に会場前を封鎖して、規制絶対反対を掲げる私たち文化連盟を、何の説明もなく全学説明会から排除しました。

こんな事は昨年の全面飲酒規制強行まで考えられませんでした。つい3年前まで学祭実是我们の企画趣意書を受け取り、大学当局による不当な文化連盟の排除に対して、共に学生センターに抗議していたのです。規制の強化と排除は連動しているという事です。

●学祭実の恣意的アンケートに動議！

しかしこのような学祭実に対して、野宿さんから、彼らが作成し飲酒規制継続の根拠としているアンケートの不当性が訴えられ、アンケートのやり直しを求める動議が出されました。飲酒の是非を問うアンケートの構成そのものが、学祭実が恣意的に結果を解釈できるようになっていた為です。この動議は事実上の学祭実不信任要求と言っても過言ではありません。

これに対し学祭実は「アンケートの不備は認める」とした上で「結果は有効である」と言い放ち、再アンケート要求もつっぱねました。

明らかに学祭実は半数以上の学生が飲酒規制に反対という去年のアンケート結果を受けて「このままではマズイ」と規制継続の為、アンケートを改悪したのです。

また学祭実の信任を問う場面では、二割以上ものサークルが学祭実に不信任を叩きつけました。多摩のサークルも含め、代表者のみで二割の不信任ですから実際にははるかに多数の学生が学祭実に対し、不信任だという事です。

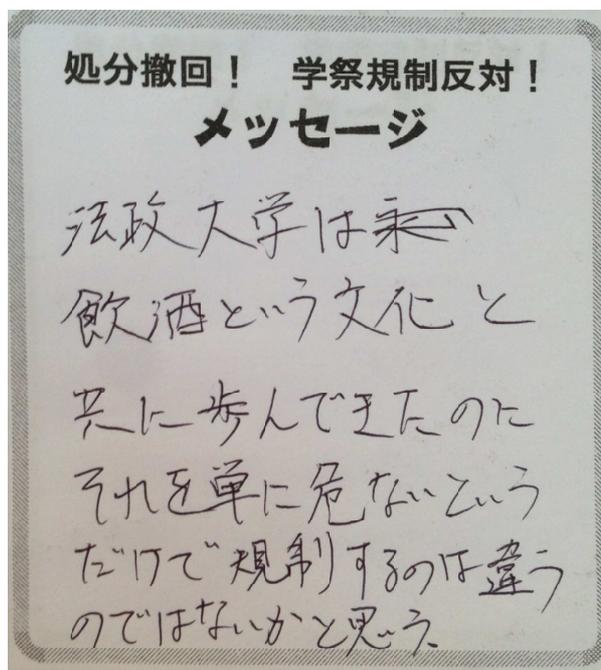
●裏切り者の学祭実打倒を！

法大生のみなさん、学祭実は学生の味方ではありません。彼らはこれまでも一切当局との折衝を公開せず、事後的に学生に結果を報告し、規制を決定事項として押し付けてきました。アンケートの件からも分かるように学生に不備を指摘されても「話は聞きました」としか言わない彼らの在り方はもはや当局そのものです。

彼らが信任されているのは、ただ他に選択肢がない、認めなきゃ自主法政祭ができないと考えられているからに過ぎません。

しかしそもそも自主法政祭が学生の授業ボイコットから始まったように、本当の「自主」は闘いの中からこそ生まれます。

共に声をあげ、学祭実から自主法政祭を奪還しましょう！！



↑法大生から寄せられたメッセージ

●9・2法大暴処法弾圧裁判 第5回控訴審

9月2日(月) 15時～ 東京高裁にて

※傍聴券配布のため30分前に裁判所脇に集まって下さい

●第3回 武田君処分撤回裁判

9月6日(金) 13時半～ 東京地裁・615号法廷

※傍聴券配布のため30分前に裁判所脇に集まって下さい



写真昨年10・19法大デモ